

これから、犬や猫と暮らそう
と思っている方、どこから迎え
ますか？

日本では、新しく犬を迎えた
方の約62%（猫は約18%）はペ
ットショップからです（富士経
済調べ）。しかし、保護動物を
家族に迎え入れる選択肢もあり
ます。捨てられたり、東日本大
震災で飼い主と離れてしまったり
した犬猫が保護され、新しい
家族と楽しく暮らしているケー
スもたくさんあるのです。

動物たちの殺処分問題を解決
する大きなキーともなる保護犬
・保護猫の問題。「保護犬を引
き取りたいが、成犬になってから
飼って本当になつくのか？」
といった疑問も耳にしますが、
おとな（成犬・成猫）を迎える
メリットもあります。

あ ん し ん ペ ツ ト ラ イ フ ⑫

犬猫を迎えようと思ったら ①

例えば、既に性格が形成され、
しつけがされていることも。シ
ニアの方が迎える場合には、生
涯をともに過ごせる見通しが立
てられます。保護団体によって
は、十分なマッチング期間（里親
の家庭と保護動物の相性を見る
トライアル）を設けている所も
あり、相性が合えばとても良い
家族の一員となれるでしょう。

一方、おとなを迎えるデメリ
ットは、これまでの生活や経歴
が分からないことです。見ただ
けでは分からない病気や心の傷
を持っているかもしれません。
その治療などに費用がかかる可
能性もあります。保護されてか
ら十分な期間がなく、保護団体
の方との触れ合いがない場合は

性格が十分に把握できないた
め、出会ったときには分からな
かった癖、人や物に対する恐怖
心などを持っていることがあり
ます。そんな場合は飼育に慣れ
た家族が十分な根気と時間をか
ける必要があるでしょう。

また、保護施設には子犬や子
猫が保護されることも多いの
で、初めて飼う場合は、自分の
家族や生活環境に合うか施設の
方とよく相談することをお勧め
します。新しく家族を迎えるに
あたり、保護動物についてもぜ
ひ検討してみてください。

＝次回②は保護団体や保護施
設についてです。

（アニコム損保 獣医師
井上舞）